

Japan CAP Training & Action

一般社団法人 J-CAPTA

2011 年度（6 月-5 月）事業報告と 2012 年度の展望

J-CAPTA は CAP トレーニングセンターとして 2009 年 4 月に設立しました。すべての子どもたちが安心して、自分を大切な存在と感じ、自ら行動選択ができるよう、子どもの視点からの人権尊重とエンパワメントに徹した教育活動の展開と、子ども共同参画社会を目指すアクション事業活動を行っています。

設立以来、15 道県 46 の地域グループと協働して養成講座や事業を開催し、また地域グループのニーズに合わせたテクニカル・アシスタンスを行い、RTC(*)と地域グループの信頼関係の構築と CAP の普及に努めてきました。

2011 年 3 月 11 日に起きた東日本大震災は J-CAPTA の管轄する東北地域、とくに岩手県、宮城県、福島県に大きな被害をもたらしました。震災後 3 月末に震災支援プロジェクト「不安を勇気に転ずる CAP のちから JCAP311Project」を立ち上げ、地震、津波、原発事故の被災地域・避難地域での CAP 活動支援を通して、子どもの生きる力を支える取り組みを地域グループと共に続けています。(*) ICAP から認可された

CAP 地域トレーニングセンター

ここに 2011 年度の実業報告と 2012 年度の展望をお伝えします。

2011 年度ハイライト

- ・JCAP311Project で被災・避難地域 45 か所で 122 回のワークショップを提供、参加者 2,827 人
- ・あらたに 113 人のスペシャリスト誕生 養成講座 6 回開催
- ・ユニセフ連携事業～被災地での CAP 推進
- ・ICAP が世界の RTC へ震災支援を呼び掛ける。
世界の CAP プロジェクトへ J-CAPTA の取り組み発信
- ・プレ、ティーンズトレーナー引き継ぎ

2012 年度の方針

- ・地域の CAP の復活
～CAP 普及・継続とグループの活性化にむけて
- ・JCAP311Project の継続と発展～2 年目の取り組み
- ・CAP はプロフェッショナル
～質の高いワークショップの提供を目指す
- ・子ども共同参画社会へ動き出す
～若い世代との協働
- ・あらたなリーダーシップを生み出す
～次世代へ継続する J-CAPTA 組織作り

J-CAPTA これまでの歩み (2009 年 4 月～)

2009 年 4 月 CAP トレーニングセンター「J-CAPTA」設立、同年 10 月一般社団法人となる。

J-CAPTA グループ 15 道県 45 グループ 470 人(2012 年 7 月)

■アクションネットワーク事業 □は年度(6 月-5 月)

- ・2009 年 4 月発足の集い(札幌市)、8 月法人化設立記念事業(新潟市)、以後毎年 7 月末に総会記念事業を開催、**2010** 千葉県我孫子市、**2011** 宮城県仙台市、**2012** 福島県いわき市予定
- ・2010 年 10 月フィンケルホー来日フォーラム開催(東京都)、以後毎年 10 月末に記念フォーラム開催、**2011** 長野県長野市、**2012** 青森県弘前市予定。
- ・講師派遣 **2009**2 回、**2010**4 回、**2011**2 回

■RTC 事業

- ・CAP スペシャリスト養成講座
20094 回(札幌・庄内・長野・つくば) 69 人
20103 回(塩尻・つがる・いわき) 48 人
20116 回(那須・新潟・岩手・宮城・金沢・函館) 114 人、
20123 回(木更津・福島・被災地沿岸部予定)
- ・プレ、ティーンズ、スペシャルニーズプログラム養成講座
20093 回(岩手・金沢・千葉)、**2010**2 回(船橋・上越)、
20112 回(秋田・札幌)、**2012**4 回予定(仙台・いわき・金沢・いばらき)
- ・TA **2009**2 グループ **2010**12 グループ **2011**13 グループ

一般社団法人 J-CAPTA

2011 年度事業報告 (2011 年 6 月 1 日から 2012 年 5 月 31 日まで)

2011 年度は東日本大震災支援プロジェクト「JCAP311Project」を事業の大きな柱として、被災地域・避難地域における CAP 活動支援を中心に取り組みました。

1. アクション・ネットワーク事業

① 子どもの人権擁護・暴力防止に関する学習・啓発

総会記念講演会 * キリン助成	7 月 30 日	「ひとりぼっちじゃないよ ～社会的養護の視点から」 講師:坪井節子	宮城県仙台市	CAP みやぎ 「こどものあんしん・じしん・じゆう」 を考える CAP の会	参加者 77 人
JCAP311Project 発足会	7 月 30 日	不安を勇気に転ずる CAP のちから～311 プロジェクト でつながろう			参加者 77 人
フィンケルホー記念 フォーラム	10 月 30 日	「子どもの性の安全～加害 と被害」講師:山本恒雄	長野県長野市	CAP ながの	参加者 62 人
JCAP311Project 中間報告会 * WAM 助成	2 月 4・5 日	現況報告、今後に向けて ミニ研修 講師:新田初美 3 県被災地会議	宮城県仙台市	/	参加者 17 人

<コメント> 震災の 4 カ月後の 7 月に宮城県仙台市で総会と JCAP311Project 発足会、2 月に中間報告会を開催、被災県の状況と取り組みを共有しました。また昨年度のデービット・フィンケルホー氏の来日フォーラムを記念して、毎年同じ時期に「フィンケルホー記念フォーラム」を開催することとし、1 回目は長野で児童養護施設での「子どもの性」がテーマでした。

② 子どもの教育・福祉行政および人権擁護の法制度や政策への提言・活動

<コメント>被災県の教育・福祉行政を地域グループとともに訪問をし、CAP 活動の理解と PR に努めました。今後は日本での CAP17 年の実績と全国で活動する CAP グループとともに、国へも働きかけていきます。

③ 国内および世界の子どもの人権擁護、暴力防止等類似の目的を持つ団体・個人との連携

<関連団体訪問等>

助成・連携事業	公益財団法人キリン福祉財団	子どもへの暴力防止 CAP の普及事業	500,000 円
	フィリップモリス・ジャパン社	児童養護施設プログラム	2,500,000 円
	独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興事業(WAM 助成)	若者と共に支える被災地社会的養護推進事業	6,300,000 円
	日本ユニセフ協会(ユニセフ連携)	岩手・宮城。福島～子どもエンパワメント CAP プロジェクト	5,303,122 円
講師派遣	11 月 15・16・17 日	研修／おきなわ CAP センター(スペシャルニーズプログラム)	沖縄県那覇市 木村
	12 月 3 日	講演／CAP のと(中学校)	石川県輪島市 石附
団体訪問・会議出席		独立行政法人福祉医療機構	東京都 木村

等	8月4日	2011年度助成事業ヒヤリング		
	5月22日	2012年度助成事業説明会		
	12月2日	日本子ども虐待防止学会いばらき大会で日本ユニセフ協会連携事業発表	茨城県つくば市	木村
	3月2日	札幌市犯罪のない安全で安心な街づくり等審議会	北海道札幌市	木村
	5月14日	フィリップモリス・ジャパン社	東京都	木村
JCAP311Project 関連	10月11日	児童養護施設みちのくみどり学園	岩手県盛岡市	木村
	10月24日 11月7日	宮城県女川町役場他	宮城県女川町	石附・木村
	11月22日	児童養護施設大洋学園	岩手県大船渡市	木村

＜コメント＞日本子ども虐待防止学会いばらき大会において、「被災地における暴力防止の取り組み：日本ユニセフ協会と J-CAPTA による CAP ワークショップの実践」について共同発表し、震災復興の中での CAP の重要性をアピールしました。また、独立行政法人福祉医療機構は2年目、フィリップモリス・ジャパン社からは4年目（CCJ から通算）の支援となります。

＜CAP に関する情報提供・広報＞

ホームページ更新	6月9日、4月1日	
ブログ更新	タイトル	アクセス数
6月	9日 不安を勇気に転ずる CAP のちから～JCAP311Project でつながろう	701
	24日 お知らせ：2011年度養成講座日程・開催地	
7月	11日 お知らせ：JCAP311Project～仙台から希望の発信を	600
8月	23日 報告：JCAP311Project～仙台にて発足を	586
9月	19日 お知らせ：JCAP311Project～ユニセフ連携事業	563
10月	6日 お知らせ：フィンケルホー記念フォーラム in 長野、開催間近！	645
	12日 報告：JCAP311Project～J-CAPTA&ユニセフ連携事業「CAP スペシャリスト養成講座（基礎編）in 岩手、感動的に終了！	
	20日 報告：韓国 CAP より来訪！	
	28日 お知らせ：JCAP311Project 応援 T シャツできました！	
11月	9日 フィンケルホー記念フォーラム in 長野、終了しました	563
	23日 報告：被災3県に CAP スペシャリストが誕生しました！	
	27日 報告：岩手県山田町で公開ワークショップしました！	
12月	29日 お知らせ：CAP スペシャリスト養成講座 in 函館 受講者募集中！	524
1月	25日 お知らせ：JCAP311Project 中間報告会 in 仙台	562
2月	16日 お知らせ：J-CAPTA 報告集 Vol.4 できました！	488
3月	15日 東日本大震災から1年	475
4月	15日 報告：CAP スペシャリスト養成講座 in 函館終了～27名のフレッシュなスペシャリスト誕生	553
5月	17日 お知らせ：2012年度養成講座日程・開催地決定！	600
	23日 お知らせ：就学前プログラム養成講座 in 仙台 6月開催！	

④ 子どもへの暴力防止および CAP に関連する刊行物の出版、グッズの作成

冊子	J-CAPTA 報告集 Vol.4 「ひとりぼっちじゃないよ～社会的養護の視点から」他	2012 年 2 月 4 日発行
	CAP イラスト&コミック版サクセスストーリー	第 2 版 2011 年 9 月 30 日発行
テキスト	Strategies for free children * J-CAPTA & CCJ 共同作成	「ノーをいえる子どもに」改訂版 2011 年 9 月 30 日発行
	CAP 児童養護施設プログラム実施用テキスト * WAM 助成事業	2011 年 10 月 29 日発行
グッズ	おってきて CAP * ユニセフ連携事業	子ども用 CAP 復習教材
	CAP 読本 * ユニセフ連携事業	おとな用 CAP 復習教材
	「安心・自信・自由」CAP シール * WAM 助成事業	子どもへのプレゼント
	豆本「親と子の安心を育む～CAP ゆめプロジェクト」* WAM 助成事業	若い世代、親のための育児ガイド
	J-CAPTA オリジナルフリーペーパー * WAM 助成事業	すべてのおとなへ～心のケアガイド

〈コメント〉 J-CAPTA エリア全体での CAP の普及を視野に入れて、「CAP イラスト&コミック版サクセス・ストーリー」の再版と、CAP フリーペーパーを作成しました。また CAP の質の均一化と向上を目指して、地域で活動する CAP グループがワークショップ提供時に使える教材や復習教材等の制作を行いました。

2. RTC 事業

① CAP スペシャリスト養成講座

講座種別	開催日	開催地	協力グループ	トレーナー (事務局)	参加人数
実践編	10 月 1・2 日	福島県いわき市	CAP いわき	石附	受講者 7 人 FU8 人
基礎編	7 月 1・2・3 日	栃木県太田原市	子どもの人権「CAP」なす	石附・木村	受講者 7 人 FU0 人
実践編	9 月 1・2 日			石附	受講者 5 人 FU3 人
基礎編	9 月 23・24・25 日	新潟県新潟市	CAP・にいがた	石附・木村	受講者 9 人 FU16 人
実践編	11 月 11・12 日			石附	受講者 10 人 FU4 人
基礎編	10 月 8・9・10 日	岩手県盛岡市 U	CAP 岩手	石附・木村	受講者 31 人 FU3 人
実践編	11 月 19・20 日			石附・(木村)	受講者 28 人 FU5 人
基礎編	10 月 21・22・23 日	宮城県仙台市 U	CAP みやぎ、こどものあんしん・ じしん・じゆうを考える CAP の会	石附・木村	受講者 30 人 FU3 人
実践編	11 月 5・6 日			石附・(木村)	受講者 28 人 FU2 人
基礎編	11 月 25・26・27 日	石川県金沢市	CAP 兼六	石附・木村	受講者 10 人 FU9 人
実践編	1 月 28・29 日			石附	受講者 9 人 FU9 人
基礎編	3 月 16・17・18 日	北海道函館市 W	CAP・みなみ北海道	石附・木村	受講者 27 人 FU7 人
実践編	3 月 24・25 日			石附・(木村)	受講者 28 人 FU0 人
ティーンズ	8 月 6・7 日	秋田県秋田市 W	CAP あきた	森田・石附・ 木村・西野	受講者 15 人 FU2 人
プレ	9 月 10・11 日	北海道札幌市	北海道 CAP をすすめる会	石附・木村	受講者 8 人 FU13 人
SNP	/	/	/	/	/
トレーナー	/	/	/	/	/

※U: ユニセフ連携事業 W: WAM 連携事業

<コメント>CAP スペシャリスト養成講座は、当初の予定に加えて日本ユニセフ協会連携事業として岩手県、宮城県での開催、震災で延期になっていたいわきの実践編の開催で 7 回の開催となり多くのスペシャリストが誕生しました。新しいスペシャリストがグループに所属し CAP 活動を担うまでのサポートやフォローアップ支援が今後の課題です。参加者数の少ない会場もあり今後の養成講座開催にあたっては現状分析をして、効果的で具体的な戦略の検討が必要です。森田ゆりさんから引き継いだ J-CAPTA トレーナーによる最初のプレ養成講座を札幌で開催しました。J-CAPTA トレーナーの養成も会員と共に考えていかなければならない課題です。

② CAP スペシャリスト (SP) 研修

	開催日	テーマ	開催地	協力グループ	参加人数
SP 研修 *キリン助成	7月31日	「社会的責任期における CAP 活動～普及・継続・連携 への戦略」講師：川北秀人	宮城県仙台市	CAP みやぎ、こどものあんし ん・じしん・じゆうを考え る CAP の会	受講者 61 人
SP 研修 *WAM 助成	10月29日	「CAP 児童養護施設プログ ラム研修&実践報告会」 トレーナー：石附・西野	長野県長野市	CAP ながの	受講者 32 人

<コメント>J-CAPTA エリア全体の課題として、普及の遅れ、継続の難しさ、ワークショップ実施数の減少、グループスタッフの減少や高齢化、世代交代の難しさ等があげられます。それらを共有の課題として向き合い、解決を探るために川北秀人監事による研修を開催しました。この研修を地域活動に生かしていくために継続した講座企画、フォローが必要です。また、児童養護施設での CAP の取り組みが進む中、「CAP 児童養護施設プログラム実施用テキスト」作成および各地での実践報告は今後の取り組みの弾みになりました。

③ テクニカル・アシスタンス(TA)、講師派遣等

グループ名	実施日	内容	開催地	トレーナー
CAP みちのく	8月21・22日	CAP みちのく設立記念事業(公開ワークショップ、 トークタイム研修)	青森県大鰐町	石附
	12月15日	教職員ワークショップ	青森県平川市	石附
	12月16日	大学生ワークショップ *WAM 助成	青森県弘前市	石附
CAP なのはな	8月24・25日	教職員ワークショップ研修、公開教職員ワークショ ップ	千葉県我孫子市	石附
ENJOY CAP	9月16日	児童養護施設職員ワークショップ	千葉県八街市	石附
CAP じょうえつ	9月22日	SNP 研修・障がいのある子どもへの CAP 公開おと なワークショップ	新潟県上越市	木村
CAP しなの	11月3日	児童養護施設プログラム研修	長野県岡谷市	石附
CAP 庄内	11月13日	児童養護施設プログラム研修	山形県三川町	西野
	11月28日	児童養護施設職員・子どもワークショップ、地域セ ミナー *フィリップモリス助成	山形県山形市	石附
	12月10・11日	児童養護施設職員ワークショップ *フィリップモリス 助成	山形県鶴岡市	石附
	12月23日 12月20日			
CAP 岩手	11月21日	公開おとなワークショップ *ユニセフ連携	岩手県山田町	石附・木村
	3月20日	障がいのある子どもへの CAP 公開おとなワークシ ョップ *WAM 助成	岩手県盛岡市	木村

CAP みやぎ	12月20日 12月21日 1月22日 1月24日	障がいのある子どもへのCAP教職員ワークショップ *WAM助成 小学校子ども・教職員ワークショップ *311支援 プレ教職員ワークショップ *WAM助成	宮城県仙台市	木村 木村 石附 石附
あいづCAP	1月15日2月 22・23日 4月27日 4月28日	保育園保護者・教職員・子どもワークショップ *311支援 専門職おとなワークショップ *311支援 高校おとなワークショップ *311支援	福島県喜多方市 福島県会津若松市 福島県喜多方市	石附 石附 石附
こどもCAPふくしま	1月23日	幼稚園教職員ワークショップ *311支援	福島県相馬市	石附
CAPあきた	2月16・25・26日	児童養護施設職員・子どもワークショップ *WAM助成	秋田県秋田市	石附
子どものけんりCAPいしかわ	2月19日	SNP教職員ワークショップ	石川県金沢市	木村
CAPながの	5月19日	児童養護施設プログラム研修	長野県長野市	西野

<コメント>地域の状況やニーズにあった多様で細かな支援を心掛けました。今年は13グループへTAおよび講師派遣を行い、地域グループと共にワークショップをする中で、情報提供と技術援助ができました。また、地域の実情を把握する機会となり、今後のJ-CAPTAの支援の方向性に反映していきます。

④ グループ訪問

／	実施日	協力グループ	開催地	担当
311ミーティング	7月4日	CAPみやぎ、「こどものあんしん・じしん・じゆう」を考えるCAPの会、CAP岩手、日本ユニセフ協会	宮城県仙台市	石附・木村
WAM事業会議	7月26日 12月9日 1月6日	CAP・みなみ北海道、北海道教育大学他	北海道函館市	木村
行政訪問	11月22日	CAPこおりやま、CAPいわき、日本ユニセフ協会	福島県郡山市 大熊町	石附
行政訪問	11月28日	CAP庄内	山形県山形市	石附
行政訪問	1月23日	こどもCAPふくしま	福島県相馬市	石附
参加	3月2日	CAPぼけつと(地域セミナー)	千葉県一宮町	石附
行政訪問	3月21・22日	CAPみやぎ、日本ユニセフ協会	宮城県仙台市	木村
311ミーティング *WAM助成	3月21・22日	CAPみやぎ、「こどものあんしん・じしん・じゆう」を考えるCAPの会、日本ユニセフ協会	宮城県仙台市	木村
311ミーティング	5月12日	CAPみやぎ	宮城県仙台市	石附・木村
311ミーティング	5月13日	CAPこおりやま、こどもCAPふくしま、あいづCAP,CAPいわき、日本ユニセフ協会	福島県郡山市	石附・木村

行政訪問	5月13日	こどもCAP ふくしま	福島県伊達市、桑折町、国見町	石附
------	-------	-------------	----------------	----

<コメント>311 ミーティングを被災県で開催し、グループの現状の共有を図りました。また地域グループと共に地域行政を訪問して CAP 活動の理解と PR に努めました。今後もさまざまな機会を通して地域グループ訪問の機会を作ります。

⑤ フィリップモリス・ジャパン社助成事業

グループ名	施設数	WS 数	参加人数
北海道 CAP をすすめる会	1	6	69
CAP 庄内	2	7	106
CAP いばらき	1	2	22
CAP ぽけっと	1	1	40
ENJOY CAP	1	1	16
CAP ももくりさんねん	1	3	35
あわCAP	1	3	46
CAP・にいがた	1	5	58
CAP しなの	1	4	46
CAP 里山	1	5	50
CAP ながの	10	41	453
合計	21	78	941

<コメント>今年度は助成額 250 万円 13 グループに配分しました。実施の内訳は、新規実施が 3 施設、2 年目 5 施設、3 年目 7 施設、4 年目 1 施設、5 年目 2 施設、6 年以上 2 施設で、本助成金により、長野県を中心にして継続実施が可能となり、かつ新たに取り組むグループや施設が増えたことは大きな成果です。フィリップモリス・ジャパン社の社会貢献事業として本事業が取り上げられることの波及効果が期待されます。

3. その他

① 会議の開催

会議名	実施日	開催地	参加者
定時総会	7月30日	宮城県仙台市	出席正会員数 44 / 全 46
理事会	8月29日 ・代表理事選任の件 ・理事会日程決定の件・事業進捗報告他	北海道伊達市	森田理事長、宮地理事、木村理事、松林監事
	5月27日 ・総会開催の件 ・2012 年度事業の件	大阪府大阪市	森田理事長、新田理事、宮地理事、木村理事、(事務局 2 人)
トレーナー会議	5月1日	兵庫県西宮市	森田・石附・木村・西野
	10月31日	長野県長野市	石附・木村・西野
事業推進会議 * WAM 助成	9月26日	新潟県新潟市	5 人
	10月30日	長野県長野市	4 人
	11月24日	石川県金沢市	3 人
事務局会議	8月1日	宮城県仙台市	3 人

	10月23日	宮城県仙台市	3人
	5月1日	兵庫県西宮市	5人

② RTC 関連

RTC 間協力会合	5月28日 ・情報共有・フィリップモリス助成 について・ティーンズプログラム トレーナー養成について等	兵庫県西宮市	木村・石附
韓国来訪会議	10月16・17・18日	北海道札幌市	木村・石附
ICAP	随時メールでやり取りした		

<コメント> 東日本大震災への支援として ICAP、韓国 CAP から励ましのメール、寄付金を頂きました。

③ ニュースの発行

J-CAPTA ニュース 15号	6月30日発行	1. 活動報告 2. 総会事業案内 3. JCAP311Project<報告 2> 4. J-CAPTA のこだわり (その 11. 震災の中で子どもワークショップを届ける意味) 5. Q&A 6. インフォメーション
J-CAPTA ニュース 16号	8月31日発行	1. 活動報告 2・3. 総会報告 4・5. 総会記念事業 6. JCAP311Project<報告 3> 7. J-CAPTA のこだわり (その 12. より近く繋がる～TA 報告) 8. インフォメーション
J-CAPTA ニュース 17号	11月30日発行	1・2. 活動報告 3. J-CAPTA のこだわり (その 13. 私たちの知らないところで…サクセス・ストーリーその 1) 4・5. JCAP311Project<報告 4> 6. インフォメーション
J-CAPTA ニュース 18号	4月10日発行	1・2. 活動報告 3. JCAP311Project<報告 5> 4. J-CAPTA のこだわり (その 14. おとながちょっと変わるだけで～おとなワークショップの必要性)

<コメント> J-CAPTA ニュースを RTC と準会員一人ひとりをつなぐ重要なツールと考え、情報の共有と CAP 活動の指針となる内容を目指しました。今年度は「JCAP311Project 報告」の連載、「J-CAPTA のこだわりのページ」では震災の中で CAP を届ける意味や提供の仕方を提示しました。

④ メルマガの配信

NO.38	6月7日	CAPスペシャリスト養成講座 in 那須のお知らせ
NO.39	6月17日	ホームページのグループ情報更新について
NO.40	6月22日	2011年、CAP スペシャリスト養成講座のお知らせ
NO.41	6月27日	2011年総会事業のお知らせ
NO.42	7月22日	2011年総会資料発送のお知らせ
NO.43	7月27日	2011年総会 第6号議案追加のお知らせ
NO.44	8月5日	2011年総会 無事終了しました
NO.45	8月24日	9月実施予定の事業案内
NO.46	9月14日	児童養護施設プログラム実施報告書提出のお願い
NO.47	9月16日	JCAP311Project 助成 CAP ワークショップ募集のお知らせ
NO.48	9月28日	フィンケルホー記念フォーラムのお知らせ
NO.49	10月25日	フィンケルホー記念フォーラムの開催間近！！
NO.50	11月21日	CAP スペシャリスト養成講座 in 金沢のお知らせ

NO.51	11月30日	JaSPCAN「震災関連特別企画」での発表のお知らせ
NO.52	12月2日	You Tube で CAP 放映中！
NO.53	12月25日	J-CAPTA ニュース 17 号発送のお知らせ
NO.54	1月12日	「JCAP311Project 中間報告会 in 仙台」のお知らせ
NO.55	1月24日	CAP みやぎより、ワーク応援隊の要請です
NO.56	1月27日	中間報告会に参加するグループの皆さんへのお願い
NO.57	2月13日	「2012 年度 J-CAPTA 養成講座等開催希望アンケート」のお知らせ
NO.58	4月4日	フィリップモリス社助成及び J-CAP311Project 助成 2012
NO.59	4月15日	ワークショップ集計提出のお願い
NO.60	4月25日	J-CAPTA ニュース 18 号発送のお知らせ
NO.61	4月26日	フィリップモリス助成 2012 申込受付のご確認
NO.62	5月12日	「CAP 就学前プログラム in 仙台」のお知らせ
NO.63	5月31日	「CAP スペシャリスト養成講座 in 木更津」のお知らせ

<コメント>RTCとグループを結ぶ重要な配信と位置付けています。1, 2 週間に 1 回程度配信していますが、グループ内での迅速な情報共有を期待しています。

4. JCAP311Project

震災被害の大きかった岩手・宮城・福島県の CAP グループ支援と被災地域・避難地域の CAP 活動支援を目的に JCAP311Project を設置し(3 年間)、3 県内でのワークショップ無料提供とスタッフの養成(3 県の人や学生の受講料免除)啓発ポスターや復習教材を頒布しました。

① ワークショップ提供

	子どもワークショップ		おとなワークショップ		合計		提供先
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	箇所
岩手県(1 グループ)	3	62	14	249	17	311	12
宮城県(2 グループ)	34	885	28	563	62	1448	18
福島県(4 グループ)	7	105	15	391	22	496	10
3 県以外	14	377	7	195	21	572	5
合計	58	1429	64	1398	122	2827	45

※ユニセフ連携事業、WAM 助成事業、311 支援金より実施しました。

② スタッフ養成

スペシャリスト養成講座	受講者数	SP 認定
ユニセフ連携事業(盛岡市・仙台市)	62	55
WAM 助成事業(函館市)	22	22
学生 311 支援	3	1

③ ワーク応援隊の派遣

22 ワークショップに延べ 18 人を派遣しました。(含トレーナー)

④ 311 支援金収支報告(2011 年 JCAP311 Project 発足から～2012 年 5 月)

収入	2,557,822 円	内訳)311 支援金 1,586,646 円、会場カンパ 71,316 円、 T シャツ・ホルダー販売 899,860 円
支出	1,992,499 円	内訳)3 県ワーク提供 399,788 円、物品支援 149,800 円、 311 ミーティング交通費・会場費・会議費等 383,412 円 T シャツ・ホルダー制作 1,020,000 円、送料・振込手数料等 39,499 円
残高	565,323 円	…たくさんのご寄付をいただきありがとうございました…

※在庫 T シャツ 70 枚 ネームホルダー 200 個

<コメント>震災後すぐに ICAP より世界の CAP プロジェクトに支援が呼び掛けられ 1,085,729 円の寄付をいただきました。また、「日本ユニセフ協会東日本大震災支援子どもの保護活動」の一つに CAP が取り上げられ、連携事業として被災地で事業推進できたことは、被災県のみならず、日本や世界へ CAP の有効性をアピールする機会となりました。被災県においては日本ユニセフ協会震災支援事業のネットワークを活用して、CAP の広報に努めました。今後は被災地の学校体制が整わず実施できなかった地域へのプログラム提供に努めます。

5. 会員・役員等

会員	正会員：46 グループ	準会員：513 人	アクション会員：51 人	支援会員：16 人
寄付	個人：24 人、団体：12			
役員	理事長：森田ゆり			
	理事：坪井節子、新田初美、宮地勲彦、木村里美			
	監事：川北秀人、松林恵美子			
トレーナー	森田ゆり、石附幸子、木村里美、西野緑			
事務局	チーフディレクター：木村里美、トレーニングディレクター：石附幸子 事務局スタッフ：山根若子			

<参考>

ワークショップ集計	子どもワーク		おとなワーク		合計		備考 グループ 数
	回数	人数	回数	人数	ワーク数	参加者数	
2011 年 3 月までの全国合計	95,414	2,798,418	49,804	1,761,215	145,218	4,559,633	
J-CAPTA2011 年(4 月～3 月)	901	20,767	633	13,047	1,534	33,814	46

以上